

三木地区
市政懇談会資料
(書面回答)

地区からの意見・提言(書面回答)

三木地区

	意見・提言の内容	担当課
1	三木市中央公民館等複合施設基本計画、要求水準書について②	生涯学習課

市政懇談会 書面回答

地区名	三木地区	
意見・提言等	1	三木市中央公民館等複合施設基本計画、要求水準書について② (城下町まちづくり協議会)
(内容) 三木城下町まちづくり協議会は、三木中心市街地の活性化のため努力を重ね、この度の複合施設建設に対する願いを述べてきたところです。市は、三木地区一帯のまちのにぎわいづくりの拠点としてこの建設を位置付けて取り組まれている中、まち協として以下の提言を述べさせていただきます。 1 三大資源+国指定史跡などの観光資源活用の活動拠点ができれば、民間の活力が生まれ発展が期待できる。 その活用拠点として ①金物体験館の新設・・・古式鍛錬の金物5品を使った体験ができる場所の新設を望む ②三木祭り会館の新設・・・三木祭りを体感できる屋台の展示、DVD視聴、太鼓の試し打ちなどができる会館を 2 国の補助金申請の伴う三木地区一帯の整備計画について示してほしい。特に上の丸城址公園とリバーサイドパークなどを結ぶ取組を望む。 ①三木城攻めの付け城を見渡せる、バーチャル視聴ができる場所を上ノ丸城址公園に作ってほしい。 ②みき歴史・美術の杜みゅーじあむのまちおこしの拠点として整備されたみき歴史資料館の役割と成果について ・三木城址公園を訪れる交通網の整備を ・リバーサイドパークのリニューアルに際してトイレの整備を		
回 答	(担当課) 教育総務部 生涯学習課	

この中央公民館等複合施設整備事業につきましては、三木市公共施設再配置計画に位置付けられた4つの公共施設の集約を目的にした事業であり、その構想に賛同された三木商工会議所の参画により、最終的に中央公民館、市民活動センター、高齢者福祉センター、まなびの郷みずほ（高齢者大学・同大学院）の4公共施設と三木商工会館による複合施設の整備を行うものとなりました。

また、公共施設の集約のみにとどまらず、様々な方面から地域のにぎわいづくりが求められているところです。そのため、民間収益施設の整備については、市が独自に行うのではなく、民間事業者からの提案を受けて行います。

このような手法で事業を行う理由として、民間収益事業は、事業者自身が将来にわたっての収益を見込み、持続的に事業経営を行えるかどうかを判断するためです。

- 1 貴団体からのご要望にある「観光資源活用の活動拠点」の整備等については、これまでも説明させていただいたとおり、本事業の範囲外であるため、このたびの民間事業者からの提案には含まれることはありません。

今後、この地域の将来を見据えたまちのにぎわいの創出や活性化のため、施設などのハード整備にこだわらず、すでに貴団体が実施し、集客されているイベントなどのソフト事業への支援や充実に合わせ、すでにある観光資源や歴史・文化資源を活かしていきたいと考えております。

そのためには、行政だけの取組ではなく、これまで地域のにぎわいづくりやまちの活性化にご尽力された貴団体や地域の方々とともに、力を合わせて取り組んでいきたいと考えております。

- 2 「国の補助金の活用」については、国土交通省の社会資本整備総合交付金の交付を受けるべく、庁内の関係課で協議しながら、その要件となる都市再生整備計画の作成を進めているところです。